

グループ討議のご案内

今回のグループ討議は、2017年8月から始まりました新テーマ編成の第4回目となりますが、これまでの議論に一度もご参加されていなくても、充分意見交換できる場としたいと思います。

講演会とは異なり、疑問や他大学の事例について直接ご質問いただける場です。有意義な時間となりますので、ぜひご参加ください。

なお、参加申込をいただく際には、討論したい内容や現在ご興味のある内容をご入力ください。コーディネータが討議進行の参考にさせていただくとともに、グループ毎の参加者名簿（研修研究会参加者に当日配布）に掲載いたします。

I 教育と連携

持続可能な社会の実現をめざして、大学が教育機関として果たすべき使命の一つは、なによりもまず、持続可能な社会を構築する担い手を育成することにあります。そしてそのためにいま大学に求められていることは、地域、自治体、市民団体、事業所、NPO等、様々な主体との連携・協力と、それを推進するネットワークの形成です。そこで本グループでは、教員・職員・学生・企業等、それぞれの立場から、以下の5つのキーワード（エコ活動、環境教育、学生参画、人材育成、地域連携）のもとに、様々な実践事例やアイデアが紹介され、自由活発な意見交換が行われます。

エコ活動：清掃活動、自然保護活動、イベント参加、キャンペーン等

環境教育：ESD、PBL、アクティブラーニング、基礎教育と専門教育等

学生参画：学生と教職員の協働、大学のサポート体制、大学間連携等

人材育成：ボランティア、インターンシップ、エコリーダー養成等

地域連携：市民・行政・企業・NPOとの連携、地域活性化、世代間交流等

今回はとくに「SDGs（持続可能な開発目標）とサステイナブルキャンパス」をテーマに、学生たちの取り組みやESD（環境教育）の実践事例についてのミニ講演、及びワークショップを予定しています。その他、参加者の皆様の（分野や部署を問いません）ご関心・ご要望を踏まえた討議内容も検討させていただきます。

<コーディネータ・協力者>

団体名	参加者名	所属・役職等
当協議会理事	飛田 満	目白大学 社会学部
当協議会理事	尾上 薫	千葉工業大学 工学部
当協議会理事	藤野 裕弘	東海大学 教養学部
当協議会理事	小出 秀雄	西南学院大学 経済学部
当協議会顧問	野上 祐作	岡山理科大学 名誉教授
当協議会編集委員	松澤 秀則	千葉工業大学 工学部
当協議会名誉会員	恩田 正雄	上智大学 名誉教授
当協議会名誉会員	田中 勉	法政大学 人間環境学部
日本工業大学	佐藤 杉弥	共通教育学群
株式会社 ハチオウ	星野 祐子	都心営業部

Ⅱ 化学物質

本グループは、化学物質の適正管理や安全教育について議論するグループです。全体会では、初日に2つの講演を予定しており、ひとつは、実験における化学防護手袋の適切な取扱い等について、2つ目は、実験室における危険予知トレーニングをテーマにご講演いただきます。

小グループでは、医療系大学に関連するグループを前回から継続して用意し、リスクアセスメントや化学物質管理について討議を行う予定です。他に、初心者対象のグループや実習を行うグループなど、計4つの小グループに分かれて研修や討議を行います。

◆全体会◆

◇講演① 「実験における化学防護手袋の適切な取扱い」

十文字学園女子大学 教授 田中 茂

◇講演② 「リスク感性向上セミナー：大学におけるKYTツアーの試み」

一般社団法人産業環境管理協会 山藤 憲明

◆小グループ概要◆

A：医療系大学における化学物質管理（リスクアセスメント・薬品管理システムを中心として）

このグループでは、前回に引き続き、主に医療系大学における「リスクアセスメント」や「薬品管理システム」を中心とした化学物質管理について討議を行います（ただ、必ずしも参加者を医療系大学に限定しているわけではありません）。大学における取組み事例を具体的に紹介しながら討議を行う予定です。

B：実験室における危険予知トレーニング（KYT）

早稲田大学内の実験室をモデルに、実験室内の危険予知トレーニング（KYT）を行います。

数人の小班に分かれて実験室の現場巡視を行った後、班内で指摘事項をディスカッションします。次に、各班で検討した指摘事項を発表し、緊急度合い、対策内容などを全体で議論します。併せて、普段の巡視業務での悩みや疑問についても意見交換したいと考えております。

C：個人サンプラーを活用した作業環境管理について

個人サンプラーを活用した作業環境管理に関する専門家検討会の報告書がまとめられ、2018年11月に厚生労働省HPに公開されました。今後、個人サンプラーを用いた測定方法が公的に認められる可能性が出てきました。これを受け、今回は検討会の委員でもある早稲田大学の村田准教授をお招きして、報告書の解説と今後の展望についてご講演いただきます。また、大学の作業環境管理にこの測定方法が活用できるのか、問題点は何か、事例報告をもとに皆様で議論をし、私大環協として提言や情報発信ができればと考えております。

D：キャンパスの安全安心を確保するための基本（第3回）

このグループは化学物質管理に従事して数年以内の初心者を対象としています。今回は、これまでの討議や質問等を参考に、「私大環協版 安全衛生委員会」を開いてみます。

（テーマ等の希望があれば事前にお知らせください。）

併せて、関連法令についても座学対話形式ですすめていきます。

※これまで参加されていない方も参加できます。前回までの資料をお渡しいたします。

<コーディネータ・協力者>

団体名	参加者名	所属・役職等
当協議会研修研究会実施WG委員	押尾 浩志	早稲田大学 理工センター事務部
当協議会副会長	保利 一	産業医科大学 産業保健学部
当協議会理事	末永 聖武	慶應義塾大学 理工学部
当協議会理事	井上 英樹	福岡大学 環境保全センター
当協議会編集委員長	落合 澄	元早稲田大学 理工センター技術部
当協議会化学物質適正管理検討委員会委員	高野 啓	元名城大学安全衛生・環境アドバイザー
株式会社 富士清空工業所	奥田 篤史	常務取締役

Ⅲ 施設・設備

このグループでは施設・設備に関する事項について取り上げますが、全体討議と、より多くの方に議論に参加していただくためのサブグループによる討議を設定しました。

全体討議は、官公庁やコーディネータの方に情報提供をしていただき、その内容を踏まえて討議します。

- ・「(仮) エネルギーに関する事項」文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部施設企画課
- ・「(仮) 早稲田アリーナの環境配慮」早稲田大学キャンパス企画部

また、コーディネータからタイムリーな情報も予定しています

サブグループによる討議は、少人数で討議する事で、より掘り下げた議論が展開することを期待します。グループは以下の2テーマを設定しました。

- A エネルギー系：省エネ・創エネ・蓄エネ、CO₂排出量削減などエネルギーに関する事項
- B 計画管理運営系：施設設備管理、新增築、リニューアル、マネジメント

それぞれのグループの中で「話題提供」や「グループ内講演」をしていただき、それに基づき議論を進めると共に、参加者からの疑問や問題提起に参加者の皆様が積極的に意見を出す討議としたいと考えます。

<コーディネータ・協力者>

団体名	参加者名	所属・役職等
当協議会副会長	矢ノ目 優	慶應義塾
当協議会企画委員会委員	原 渡	日本工業大学 総務部
当協議会企画委員会委員	深谷 浩憲	東海大学 法人本部総務部
当協議会研修研究会実施WG委員	佐々木 隆人	東京農業大学 施設部
当協議会研修研究会実施WG委員	金子 良作	法政大学 環境センター
東京ガス株式会社	石川 登志樹	公益営業部
株式会社 日建設計総合研究所	河野 匡志	環境エネルギー部門
東京美装興業株式会社	安蘇 秀徳	事業開発部
東京電力エナジーパートナー株式会社	渡邊 圭介	E&G事業本部 都市事業部 都市ソリューション技術グループ